

R18

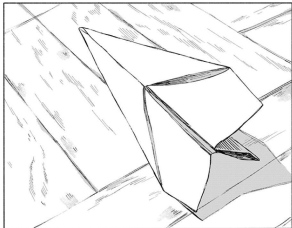
HYPNOSISMIC UNOFFICIAL FANBOOK #5
SAMATOKI*ICHIRO

・この本は2019年3月に発行した同人誌です。
それ以降に出た公式の情報は反映していないため、
多少のズレがあるかもしれません。

・TDD時代の二人の捏造話ですのでご注意ください。

・かなりぬるい描写ではありますが
18歳未満閲覧禁止をお願いいたします。

当時ご購入くださった皆様には感謝申し上げます。
お手に取ってくださり本当にありがとうございました！



いつだって
前田に頼っておんだ

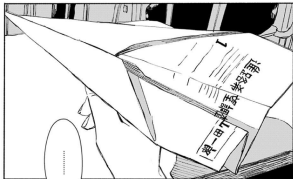














エタハル
エグザン

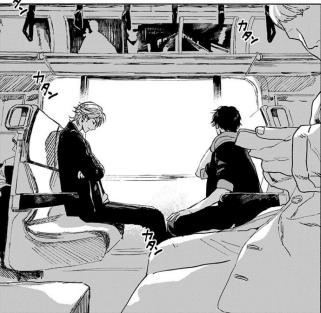














……
電車から見る風景って
不思議だよな

こうやって
流れていく
景色の中で

みんなそれぞれ
生活してて

もう二度と
会うことは
ないんだけど

一瞬で流れていく
景色の中でも
たしかに人は生きてて

でもその人達にとつちや
俺も二度と会わない
人間の1人で

流れていく景色の
一つなんだよな

だからこうして
景色見てつと
自分ってこの世界の
たった一部でしかなくて

ものすごく
もったいなくて
大したモンじゃない
んだって思い知らされて





なんかこう、

宇宙の誕生に
ついて考える
ときとか

そういうの考えて
心がざわついて
暗れなくなった
子どもの頃みてえな

人は死んだら
どこにいくのか
とか

なんかそういう
不思議な気持ちに
なるんだよねあ



まさか
盗聴入りして
聞いてないよな

はは

こよかった

本音に寝てやがる









……貴女
悪い夏の日

こんなに暑い日は
もう僕にも先にもない
ってくらい暑かった日

兄弟で農設備を出して
海に行こうと
したことがあるんですよ

今日みたいに
電車で



二層と飾らない
つもりだったのか

そこから3人で生きる
つもりだったのかも
分かんねえ

でもとにかく
あの青くて眩しくて

ただひたすらに広い海を
見たかったんだ



でもよそしたらさ、
切符の買い方
分かんなくてさ

バカだよな
切符の買い方すら
分かんねえのに
3人で海いこうとしたんだ

一番下のやつが
海行きたいって

暑いから
かき氷でも
食べるか、なんて

でも彼れでもたまたま
してあうちに
施設の人が
駆けつけてきて

あつけない
失敗はは









目の前
すっかり
見届えて



胸に重心
置せて



必死になって
上見通す
なんだよ

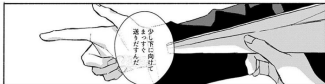
アサ

もっと
前だ、前



見てるモン
見失おえよう

ブレねえように
まっすぐ



少し下に降けて
まっすぐ
通りだすんだ





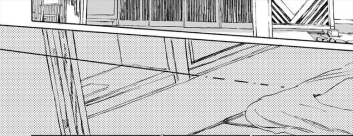
必死になって
上を見通す
なんだよ

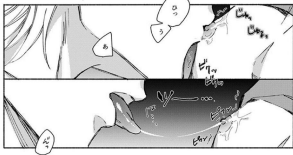


もった
前だ、前















せーんせ



つておいなんだ
このぐちゃぐちゃで
シブシブなのは！
卒業生にも
困るんだよ！

ごめん
ごめん！

やっとな
飛べたんだよ！
そしたら「いっしょ」
なの。



お待たせ

おー山田ア

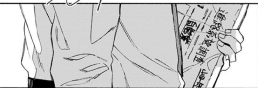


飛んだあ？





エタハル
セブンスター



上手く生きられないけど
上手く生きなくてはいけない男の子と
それを見守る大人が大好きです。

2019.3.17

CrazyLyricBattle

四国 決闘 前人未踏

西川歌写堂様

板巻・図鑑・ネットオークション

フリマアプリ出品販売

しぐれ/ASUNARO

pixiv : 4838480

twitter : @shigureee

mail : shigureee26@gmail.com

ご感想など一言いただけたら嬉しいです！
<https://pcing.net/ja/shigureee>

モラトリアム
seventeen



PRESENTED BY ASUNARO
HYPNOSISMIC UNOFFICIAL FANBOOK #5
SAMATOKI*ICHIRO